

赤西溪谷でのシコクヒメコブハナカミキリ採集例

黒田 収

シコクヒメコブハナカミキリ *Pseudosieversia shikokensis* Hayashi は四国では花上及吹上げ等で毎年、少数採集されているらしいが、本州に於ける採集例は希めて少なく、筆者の知る限りでは飛騨小坂と京都府芦生の二例のみである。

筆者は赤西溪谷に於て1♂採集したので報告しておく。

1♂ 兵庫県宍粟郡波賀町赤西溪谷営林署前 15.VI.1980。当日、同地の川添の林道でカミキリ採集を行っていた際、午後3時頃カツラの生木(直径約15 cm)の地上高約4 M程の樹幹上に飛来した。

今迄の採集例はほとんどが花上とかカツラの木のひこばえ等で採集されているが、上記の様に生木上で採集された例は非常に珍らしく生態上、興味有ると思ひ合わせて報告しておく。

宝塚市清荒神周辺でのラミーカミキリと キョウトアオハナムグリの採集記録

加藤 信一郎

1. ラミーカミキリ 1ex. Jul. 18, 1978 基本型; 1ex, Jun. 27, 1979 基本型だが翅端黒色部にも青白色小紋をもつ; 1ex, Jul. 15, 1980 青白色紋は会合線近くまで拡大する; 宝塚市清荒神4丁目, 筆者採集・所蔵。

本種は、現在では普通種と見なして良いほど、県下には広く分布しているようである。宝塚市内でも武庫川西岸の紅葉谷での記録はあるが(高橋, 1979, きべりはむし), 東岸では今まで記録されていないと思われる。採品はいずれも自宅庭先のフヨウ(俗称セイヨウフヨウ)に飛来してきたものである。

2. キョウトアオハナムグリ 1♂, Aug. 23, 1970 宝塚市売布山手1丁目, 筆者採集, 所蔵。少し古い採品だが、宝塚市内で採集された記録はないと思われるので、併せて報告する。採品は、売布神社参道入口に立つ石燈ろうの側のクヌギの古木に、樹液を求めて他のハナムグリ・カナブンと群がり集まっていたもので、夜間採集品である。

なお、種々ご助言を受け、発表を勧めて頂いた高橋寿郎氏に深謝申しあげる。